

県政日誌

(6/24 ~ 7/18)

- 6/24 フライマス・コレクションの受贈式及び知事感謝状贈呈式
- ” 表敬 NTT西日本社長 上野 至大氏
- ” 表敬 在沖米国総領事 ティモシー・A・ベッツ氏
- ” 表敬 スタークルーズ台北支社長 慮冠軍氏
- ” 「琉球国惣絵図」寄贈 NPO法人琉米歴史研究会理事長 喜舎場静夫氏
- 6/26 那覇市インキュベート施設開所式
- 6/28 2003沖縄空手道古武道世界大会50日前イベント
- 6/30 離任あいさつ 日銀那覇支店長 内田真人氏
- 7/1 2003県産品奨励月間街頭パレード及び街頭キャンペーン
- 7/3 第15回全国生涯学習フェスティバル実行委員会(第2回)
- 7/7 平成15年度九州商工会連合会女性部連絡協議会通常総会
- ” 知事行政視察(都屋の里、道の駅「かでな」、県中部合同庁舎福祉・保健所棟)
- 7/8 表敬 四軍調整官 ワレス・C・グレグソン 米国海兵隊中将
- ” 農業大学校果樹専攻学生実習成果報告
- 7/9 バイナップル学校給食消費拡大キャンペーン
- ” 平成15年度ちゅう島環境美化推進県民連絡会議総会
- ” 平成15年度夏の交通安全運動出発式・交通安全旗及び知事メッセージの伝達
- 7/10 表敬 陸上自衛隊西部方面総監 森勉氏
- ” 表敬 九州・山口経済連合会会長 鎌田迪貞
- ” 表敬 元沖縄開発庁長官 植木光教氏
- ” 表敬 航空幕僚長 津曲義光氏
- ” 青少年深夜はいかい防止一斉行動出発式
- ” 山梨県知事 山本栄彦氏への日米地位協定見直し協力要請
- ” 山梨県議会議長 高野剛氏への日米地位協定の見直し協力要請
- ” 静岡県議会議長 水口俊太郎氏への日米地位協定の見直し協力要請
- ” 静岡県知事 鈴木雅近氏への日米地位協定見直し協力要請
- ” 台湾SARS感染地域解除祝福代表団派遣
- 7/14 第16回国連アジア太平洋地域地図会議開会式
- 7/16 千葉県議会議長 篠田哲彦氏への日米地位協定見直しに関する要請
- ” 千葉県副知事 白戸章雄氏への日米地位協定見直しに関する要請
- ” 表敬 第1回世界のウチナンチュ会議実行委員会共同委員長 ロバート仲宗根氏、ハワイ沖縄連合会長ジョージ・玉城氏
- 7/17 在那覇タイ王国名誉領事館開館式
- ” 全国知事会議(開催地 岐阜県、~18日)
- ” 第1回やんばる美ら島マンゴーコンテスト授賞マンゴー贈呈
- 7/18 表敬 カシット・ピロム駐日タイ大使
- ” 表敬 在日本ボーイスカウト沖縄県連盟

7月 17・18日 全国知事会議で、日米地位協定の見直しが決議



7月17日・18日の両日、都道府県によって構成される全国知事会議が、岐阜県で開催された。全国知事会議は、日米地位協定の抜本的見直しを盛り込んだ基地対策の推進について決議した。

稲嶺知事は席上、日米地位協定の抜本的見直しの必要性を訴え「全国行動プラン」を行っていることを説明した。また、昨年の全国知事会議と、7月の東京都、神奈川県、長崎県の各議会で日米地域協定の見直しの決議がなされたことに感謝を述べた。

県は、7月も山梨県、静岡県、千葉県などを訪れ、協力を求めた。今後とも各都道府県や各種団体等と連携し、日米地位協定の見直しの実現に向けて取り組む予定。

7月 18日 国連アジア太平洋地域地図会議 開催



アジア太平洋地域55カ国における測量・地図分野の責任者が一堂に集まる国連アジア太平洋地域地図会議が、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催された。この会議は、同地域の測量・地図作成事業を促進し、各国の経済・社会開発に資することを目的としており、日本で開催されるのは30年ぶり。

稲嶺知事は、開会式で本会議の沖縄開催に対し、国連や国土交通省等関係各位への謝意を述べるとともに「九州・沖縄サミット」や「第3回太平洋・島サミット」の開催成功についてふれ、各種国際会議の開催を通して世界の国際交流拠点を目指していることを紹介した。国連アジア太平洋地域地図会議に併せて「地球地図フォーラム2003イン沖縄」をはじめ県民を対象とした「ミニ地図展」等の展示会も開催された。

7月 9日 バイナップル学校給食消費拡大キャンペーン



県産パイナップルの消費拡大を目的として、7月9日、稲嶺県知事が那覇市立城岳小学校2年2組を訪れ、児童らと一緒に給食を食べた。「孫と同じ歳」という児童らに囲まれ、知事は東村産のパイナップルをはじめ、ソーキ汁やおから炒めなどの沖縄料理に舌鼓を打ち、児童らと沖縄の農産物について話をした。

同小学校栄養士の与那城さんは、県産の農産物が栄養価に優れている事を説明し、家庭でも是非パイナップルを食べよう児童らに話をした。

県産パイナップルは、ここ数年の増産体制の取り組みの強化と、折からの「沖縄ブーム」を受けて、生産量は増加傾向にある。特に「ゆうバック」などの本土出荷向けの生食用パイナップルの出荷量は大きく伸びている。

沖縄県の人口・世帯の動き
平成15年6月1日現在推計

- 人口 134万3,854人
前月比1,127人増
- 世帯 47万3,465世帯
前月比993世帯増



7月 10~12日 沖縄・台湾親善訪問団



7月10日から、2泊3日の日程で、県や那覇市、観光業界の代表らでつくる「沖縄・台湾親善訪問団」が台湾を訪問した。これは、世界保健機関(WHO)が台湾を、新型肺炎(SARS)感染地域指定から解除したことを受けたもの。

出発前に行われた結団式で、饒波団長は「待ち望んでいた台湾の新型肺炎感染地域の解除が5日にあり、それを祝い、ますますの交流活性化のメッセージを持って訪問する。沖縄からの支援ツアーを送るとともに、台湾からのみなさんを温かく迎えたい」と述べた。訪問団は、中華民国外交部を始め関係者を訪れ、温かい歓迎を受けた。

また中城湾港では、台湾からの豪華客船「スタークルーズ社が運航する「スーパースター・ジェミニ号」の航路再開歓迎セレモニーも行われ、乗客と県民共に航路再開を祝した。